

西宮市学校施設長寿命化計画策定支援業務に係る公募型プロポーザル審査要領

1 目的

本審査要領は、西宮市学校施設長寿命化計画策定支援業務の受託候補者を選考するための審査に関して、必要な事項を定める。

2 第1次審査の審査方法

参加資格者多数の場合、参加資格を有すると認められる応募者の中から、上位5者程度を第1次審査通過者として選定する。

(1) 実施日 平成29年4月13日(木)

(2) 実施方法 事務局において、次の評価基準と評価点数に基づき採点を行い、採点結果を合計し得点の上位5者程度を選定する。なお、1者のみによる審査となった場合、得点合計の60パーセントを満たしていれば、第1次審査を通過したものとみなす。

(3) 第1次審査評価基準及び点数

評価基準		評価点数
会社の業務実績 (4点)	同種業務の実績が5件以上ある	4
	同種業務の実績が3件以上ある	3
	同種業務の実績が1件以上ある	2
	類似業務の実績が3件以上ある	1
	上記以外	0
業務実施体制 (4点)	従事予定者数が5人以上	4
	従事予定者数が4人	3
	従事予定者数が3人	2
	従事予定者数が2人	1
	従事予定者数が1人	0
管理技術者の 業務実績 (3点)	同種業務の従事実績が3件以上ある	3
	同種業務の従事実績が1件以上ある	2
	類似業務の従事実績が1件以上ある	1
	上記以外	0
管理技術者の 専任性 (3点)	手持ち業務が2件以下である	3
	手持ち業務が3件である	2
	手持ち業務が4件である	1
	手持ち業務が5件以上ある	0
主任技術者の 業務実績 (3点)	同種業務の従事実績が2件以上ある	3
	同種業務の従事実績が1件以上ある	2
	類似業務の従事実績が1件以上ある	1
	上記以外	0
主任技術者の 専任性 (3点)	手持ち業務が0件である	3
	手持ち業務が1件である	2
	手持ち業務が2件である	1
	手持ち業務が3件以上ある	0
合 計 (20点)		20

3 第2次審査の審査方法

(1) 実施日 平成29年5月下旬(予定)

(2) 実施方法 第1次審査により選定された者に対し、西宮市学校施設長寿命化計画策定支援業務事業者プロポーザル選定委員会において、企画提案内容についての評価、ヒアリング等を実施し、別紙1の評価基準と評価点数に基づき採点を行う。
 なお、プレゼンテーションは、1者30分以内(説明10分、質疑20分程度)とし、審査は企画提案書等を受け付けた順とする。

(3) 受託候補者の特定方法

ア 受託候補者の特定は、選定委員会により提案者のプレゼンテーション及びヒアリングを行い、オに掲げる評価点数の合計点が最も高い提案を行った提案者を最優秀企画提案者とし、当該最優秀企画提案者を受託候補者とする。ただし、最高評価点の者が複数の場合は、選定委員会の合議により決定する。なお、1者のみによる審査となった場合、合計100点の60パーセントを満たしていれば、受託候補者として特定する。

イ 失格要件に該当する場合は、審査対象から除外する。

ウ 特定結果については、評価、特定後にヒアリングを行った全ての事業者に通知する。
 また、特定結果に関する異議等は受け付けない。

※通知予定日 平成29年6月上旬

エ 選定委員会の設置

企画提案者の提案書等を評価するため、選定委員会を設置する。

オ 評価基準と評価点数

a 西宮市学校施設長寿命化計画策定支援業務仕様書に掲げる業務内容を踏まえ、次表の評価基準と評価点数により採点を行うこととする。

b 評価基準の詳細は、別紙1(西宮市学校施設長寿命化計画策定支援業務に係る公募型プロポーザル評価基準及び評価点数)のとおりとする。

評価分類	評価項目	評価の指標	配点
① 業務遂行能力・保有技術力に対する評価	会社の業務実績	同種又は類似業務の実績数	4
	業務実施体制	従事予定者数	4
	管理技術者の業務実績・専任性	同種又は類似業務の実績数	3
		手持ちの業務量	3
	主任技術者の業務実績・専任性	同種又は類似業務の実績数	3
		手持ちの業務量	3
② 提案内容に対する評価	業務の理解度	基本方針の内容	10
	業務に対する取組み姿勢		5
	提案内容の妥当性	主要検討項目、工程表、課題に対する取組み手法	40
	資料調製能力	提案書のまとめ方	5
③ プレゼンテーション・ヒアリングの評価	説得力	プレゼンテーション内容	5
	協調性	質問に対する受け答え姿勢	5
④ 業務費用の評価	業務費用	見積金額	10
合 計			100

(別紙1)

西宮市学校施設長寿命化計画策定支援業務に係る公募型プロポーザル評価基準及び評価点数

評価分類	評価項目	評価の視点	評価の指標	採点 分担		配点	評点算出方法等	
				選定 委員	事務局			
① 業務遂行能力・保有技術力に対する評価	会社の業務実績	業務遂行のために、必要な知識・経験を有しているか	同種又は類似業務の実績数	-	4	20	4点：同種5件以上 3点：同種3件以上 2点：同種1件以上 1点：類似3件以上 0点：上記以外	
	業務実施体制	業務遂行のために必要な実施体制を用意しているか	従事予定者数		4		4点：5人以上 3点：4人 2点：3人 1点：2人 0点：1人	
	管理技術者の業務実績・専任性	業務遂行のために、必要な知識・経験を有しているか	同種又は類似業務の実績数		3		3点：同種3件以上 2点：同種1件以上 1点：類似1件以上 0点：上記以外	
		当該業務に専任できる時間が十分にあるか	手持ちの業務量		3		3点：2件以下 2点：3件 1点：4件 0点：5件以上	
	主任技術者の業務実績・専任性	業務遂行のために、必要な知識・経験を有しているか	同種又は類似業務の実績数		3		3点：同種2件以上 2点：同種1件以上 1点：類似1件以上 0点：上記以外	
		当該業務に専任できる時間が十分にあるか	手持ちの業務量		3		3点：0件 2点：1件 1点：2件 0点：3件以上	
② 提案内容に対する評価	業務の理解度	本市の意図するところを、きちんと把握しているか	基本方針の内容	-	10	60	「非常に良い」：100% 「良い」：80% 「普通」：60% 「やや悪い」：40% 「悪い」：20% の5段階評価の平均値 (小数第3位切り捨て)	
	業務に対する取組み姿勢	業務に対する取組み姿勢が適切であるか			5			
	提案内容の妥当性	実施手順と取組み手法は妥当か	主要検討項目、工程表、課題に対する取組み手法		10			
					詳細な項目ごとに無理のない効率的な作業工程となっているか			10
					検討項目は、具体的に量も妥当か			10
		独創性かつ実現性はあるか			10			
資料調製能力	提案書は分かり易いか	提案書のまとめ方	5					
③ プレゼンテーション・ヒアリングの評価	説得力	説明が、論理的で納得できるか	プレゼンテーション内容	-	5	10	「非常に良い」：100% 「良い」：80% 「普通」：60% 「やや悪い」：40% 「悪い」：20% の5段階評価の平均値 (小数第3位切り捨て)	
	協調性	冷静に議論できるか、意思疎通が容易かどうか	質問に対する受け答え姿勢		5			
④ 業務費用の評価	業務費用	効率的な業務内容か	見積金額	-	10	10	$10 \times \{1 - (\text{見積金額} / \text{委託上限金額})^2\}$ (小数第3位切り捨て)	
最終評価点 (100点満点)						100	上記①～④の合計	